

令和元年度第2回「佐世保市行財政改革推進会議」

〔名簿・議事要旨〕

■日時：令和元年12月24日（火）10：00～12：00

■場所：佐世保市市役所4階 第1委員会室

■委員の出欠状況：出席者6名（欠席者1名）

[順不同・敬称略]

氏名	所属団体
つな 綱 たつゆき 辰幸	長崎県立大学 地域創造学部（学部長） 教授
おか 岡 みつまさ 光正	佐世保商工会議所 議員
つるた 鶴田 たかあき 貴明	公益財団法人 ながさき地域政策研究所 理事

氏名	所属団体
かやはら 茅原 ゆうこ 優子	宮地区自治協議会
うちうみ 内海 りえこ 梨恵子	一般公募
たにがわ 谷川 よし たか 善隆	一般公募

■事務局出席者：＜行財政改革推進局＞ 佐々木局長、大藤次長、石丸主幹、坂口主幹

＜財務部＞ 橋口部長、吉田次長兼財政課長、細川財政課財政係長、山邊財政課係長

■会次第

●局長挨拶

●議事

(1) 第6次行財政改革推進計画（後期プラン）第4次改革工程表について

(2) 業務改善運動における『推進会議会長特別賞』の審査について

R1.12.24 行財政改革推進会議（議事要旨）

(1) 第6次行財政改革推進計画（後期プラン）第4次改革工程表について

質疑・意見等	応答
○前回の会議で、普通会計ベースで職員数を令和3年度までに1,930人以下にするという目標達成に向け、速やかに対応すべきとの指摘に対し、早速取り組む旨の回答であったが、進捗状況はどうか。	◆管理運営事項として政策決定していくものについては、当局が責任をもって推し進めていくことを明確にしたところであり、一定前進しているものと考えている。
○消費税の増税により支出が増えるが、本市財政の収入面ではどのような影響があるのか。	◆地方消費税として直接入ってくる分、地方消費税交付金として国から配分される分があり、地方財政対策として国が全体を見ているという形になっている。
○改革改善効果の最終的な達成状況を教えていただきたい。	◆平成30年度決算ベースでいくと、基金の活用によるものが主で、ほかに自主財源の確保の取組みなどを積み上げた結果、7.25億円の計画に対し11.5億円の実績が出ている。
○宿泊税については具体的にいつ頃導入する予定なのか。 ○説明として具体性がないように感じるので、収支不足を補う計画としては具体性のあるものを表していただきたい。 ○市民等の合意を得られるように調整していただければと思う。	◆実際に着手する段階ではなく、関係団体との意見交換、庁内での観光施策のあり方の検討等を行っている状況である。

質疑・意見等	応答
<p>○行政評価と予算編成の一体化が、どれぐらい図られているのか。新しい総合計画にあわせて仕組みづくりの検討はされたのか。</p> <p>○外部評価のような形で、市民の方も巻き込む形でやってはどうか。</p>	<p>◆次期総合計画にあわせて、年度初めの各部局長から市長・副市長への施策レポートの提出等、今までの行政マネジメントのサイクルの根本的な見直しを図ろうとしている。</p>
<p>○専門技術職の不足により、一般職員の負担増加、市民サービスの低下が懸念されるので、専門技術職を確保する視点も大事ではないか。</p>	<p>◆長崎県が人口減少社会に適応した行政サービス提供のあり方に関する研究会を立ち上げ、人材を確保する方法やA I・R P Aの活用などの研究を行っている。サービス提供の持続性という観点からも、人材の確保という観点は必要と実感している。</p>
<p>○世界中、日本でもSDG sが話題になっており、企業も行政が行う取り組みを応援しようという風潮がある。官民連携の一つの柱として、取り組んでいく視点を取り入れてはどうか。</p> <p>○ブロックチェーンのようなシステムが技術的に確立されて、各地で地域通貨が取り入れられている。本市でも研究したほうが良いと思う。</p>	<p>◆総合計画の施策がSDG sのどの項目に該当するかという整理をしている。行政の立場としても、全体の枠組みの中で、該当する取り組みを積極的に行っていることをPRしていく必要があると考えている。</p>
<p>○補助金の見直しとあるが、全体としていくらぐらいあるのか。</p>	<p>◆平成 30 年度の段階で開始から 10 年を超えているような補助金が、金額として約 19 億円ある。継続の必要性、補助率の妥当性等について見直していきたいと考えている。</p>
<p>○遊休資産については、どういうものがどれぐらいあるのか。</p>	<p>◆普通財産としては土地 1,411 万平米、建物 9 万平米あり、資産額としては土地 115 億円、建物 36 億円。このうち使っていないものについては売却や貸付するなど、効率的に考えている。</p>

(2) 業務改善運動における『推進会議会長特別賞』の審査について

1次審査（書面審査）の上位3課へのヒアリングを実施。

- (1) 評価依頼の事前情報収集取りまとめ照会回答（資産税課）
- (2) 窓口表示の改善（障がい福祉課）
- (3) 長期保存期間の決裁済み文書の電子化（住宅課）

委員の多数決により、「評価依頼の事前情報収集取りまとめ照会回答（資産税課）」を1位（推進会議会長特別賞）に決定。